

自治体名	越前市		自治体コード: 182095	
事業名	結婚新生活支援事業・赤ちゃん抱っこ体験支援事業		対象経費支出 予定額 ※(注)1	15,540,000 円
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日			
地域の实情と課題(これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の实情と課題について記述) ※(注)2	<p>【实情】 男性・女性ともに有配偶率は年々低下している。また、この30年の間に、合計特殊出生率が下がってきている。結婚している女性の出生数(有配偶出生率)は、あまり変化していないが、結婚している割合(有配偶率)が年々低下していることが主な原因のひとつと考える。 男性・女性ともに非婚・晩婚化の原因は、未婚者の結婚希望率が低下していることに加え、本市の若い世代の人口が減少し、出会いや結婚の機会を減らしている可能性が考えられる。また本市の出生数は長期的に減少傾向にあり、核家族化も進み、共働き世帯も増えている。</p> <p>(これまでの少子化対策の取組) ・出会いの場の創出に係る施策 ①出会いの場の創出事業 ②親同士の結婚情報交換の場の提供 ・家庭を持ちたいと思えるような施策 ①中学校での命のぬくもり(赤ちゃんだっこ)体験学習</p> <p>【課題】 核家族化や地域とのつながりの希薄化によって、若者は乳幼児と接する機会が少ない。子どもを産み育てることの具体的なイメージができない。人との関わりや共感を高め、次世代の親を育成するための能力を養う一環として、「赤ちゃん抱っこ体験」を実施する。しかし、近年実施主体である赤ちゃん抱っこ隊は、赤ちゃん募集・欠員調整・参加者への連絡など開催までの段取りに負担が多い現状にある。実施者の負担軽減を図る必要がある。 また、結婚は個人の価値観に関わるデリケートな問題であることから、婚活イベント参加はハードルが高く集まりにくい。そのため、部局横断的に様々な切り口で結婚支援に取り組む必要がある。また、県内広域的に若者が集まるイベント、取組が必要である。</p>			
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3	<p>人口減少に歯止めをかけ、持続可能な地域づくりを実現するため、越前市では総合戦略を令和元年度に見直し、その中で「Ⅲ若い世代の結婚の希望の実現」、「Ⅳ子ども・子育て支援と教育の充実」の施策を掲げている。 「赤ちゃん抱っこ体験」は、乳児との触れ合うことでいのちの大切さを感じ、子育てなどに対する理解を深める活動のひとつとして、位置づけられている。 また、UIターン者の増加対策や若い世代の結婚の希望を実現し、合計特殊出生率を向上させる対策を展開しており、その一環として若者の結婚につながるような取組(出会いの場の創出ほか)を行っている。新たに「結婚新生活支援事業」を行い、結婚に伴う経済的負担の軽減を図ることで、婚姻件数の増加や少子化対策の更なる進展を目指す。</p>			
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	<p>少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)・達成予定時期:令和4年度 婚姻件数:320件/年度 出会いの場の創出支援件数:4件/年度 親同士の結婚情報交換の場の提供回数:6件/年度 0歳児の人口:600人 中学校での命のぬくもり体験学習の実施率:100%</p>			
参考指標 ※(注)5			直近の実績	備考(統計時点等)
	合計特殊出生率		1.61	H25-29人口動態保健所・市区町村別統計
	婚姻件数		359件	R1年度(H31.4~R2.3)
	婚姻率		4.4‰	H25-29人口動態保健所・市区町村別統計
事業内容	1 重点支援事業		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	2 優良事例の横展開支援事業		対象経費 支出予定額	540,000 円
	(1) 結婚に対する取組		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
個別事業名		対象経費 支出予定額	円	
個別事業名		対象経費 支出予定額	円	
個別事業名		対象経費 支出予定額	円	

	(2) 結婚・妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組		対象経費 支出予定額	540,000 円
	個別事業名	赤ちゃん抱っこ体験支援	対象経費 支出予定額	540,000 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	3 結婚新生活支援事業			対象経費 支出予定額
個別事業名	結婚新生活支援事業			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、自治体の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和3年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率等を記載するとともに、必要に応じて、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。

令和2年度地域少子化対策重点推進交付金(令和2年度第3次補正予算)実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 越前市 (都道府県: 福井県)
本事業の担当部局名 市民福祉部健康増進課

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.4 主に若い世代が乳幼児と触れ合う体験を通じて、子育てなどに対する理解を深めるための取組		
個別事業名	赤ちゃん抱っこ体験支援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
対象経費支出予定額 ※(注)1	540,000 円		
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>当市では婚姻数・出生数が年々減少している。将来的に、家庭を持ち子どもを育てていくことになる世代の中学生が乳幼児とその保護者と直接触れ合うことで、命の尊さ・親になることの責任などを「赤ちゃん抱っこ体験」を通して学ぶ。当事業は、心の教育の一環として中学生を対象に行われている「命のぬくもり体験学習」の中の「赤ちゃん抱っこ体験」について、事業実施がより円滑に行えるよう赤ちゃん抱っこ隊が支援する事業。</p>		
個別事業の内容	(個別事業の内容) ※(注)3		
	<p>(現状と課題) 体験学習当日は各中学校が主となり、各グループにPTAや公民館主事、赤ちゃん抱っこ隊が入り学生と母親・赤ちゃんをつなぎ調整を行う。市健康増進課においては計測や育児相談を実施。 参加者募集は短期間で、より多くの乳幼児とその保護者を募集しているが、欠員なども出て、苦慮している。より多くの中学生が命の尊さ・親になることの責任などを赤ちゃん抱っこ体験を通して学び、家庭を持ち、子どもを育てていくことに希望が持てるように広くこの事業をPRし、募集していくこと、またコロナ禍の中での体験をどのように実施していくかの検討が必要となる。 (赤ちゃん抱っこ隊について) 中学校が開催する赤ちゃん抱っこ体験学習の実施を支援するため、有志で結成された市民団体(NPOではない)である。地域の関係機関との連携調整を行うなかで、関与する団体を増やしていき、中学生だけでなく命の大切さを地域とともに共有することを目的としている。委託先は個人でなく団体として行う。具体的な活動内容は下記であり、関係者間が次年度以降も継続的に協働して実施できるよう連携・協力・調整を行う。 コロナ禍の中、総合学習である「命のぬくもり体験学習」をどのように実施していくか、主体となる学校と協議し実施する。 (R3年度、乳児とその保護者と直接触れ合う赤ちゃん抱っこ体験は中止。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各関係機関(中学校、教育振興課、健康増進課、保育園・認定こども園・幼稚園、子育て支援センター、公民館、子ども関連小売店等民間事業者など)への事業周知(赤ちゃん募集)の協力依頼 参加者からの申込受付、参加者の名簿取りまとめと各中学校との連絡 命のぬくもり体験学習の事前事後連絡会での助言 中学校や必要時PTAスタッフとの体験学習事前打合せ 体験当日の参加スタッフ(PTAなど)への教育・運営協力 妊婦や乳幼児保護者への意見聴取(コロナ禍の中の実現にむけてのアンケート作成・集約等) 事業周知の広報活動(パンフレット等の作成) 総合学習の授業にゲストティーチャーとして参加する 総合学習の取り組み(妊婦体験や赤ちゃん人形抱っこ体験)への協力 各中学校との打ち合わせや連絡調整 抱っこ体験に関する問い合わせ対応 乳幼児の子育てへの理解につながる映像資料等の作成 <p>(参加者募集) 参加親子の募集については、市健康増進課とともに赤ちゃん抱っこ隊がパンフレットやポスター、チラシを作成し、配布や掲示、募集について市内子育て関連事業所や子育て関連小売店等に広く協力依頼を行っている。参加親子の募集活動に取り組んでいるが、少子化に伴い、参加者確保に苦労している。また、それと同時に体験当日運営に関わる中学生の保護者の参加者確保にも苦労する。参加親子・中学生保護者確保に向けて、市内の企業に対して、育児休暇取得中の従業員に企業から参加親子募集の声掛けの協力や、従業員のうち中学生の保護者に当日の参加依頼を行うなど、より広く参加者の募集活動に取り組んでいる。募集チラシにはQRコードも記載し、市のホームページや赤ちゃん抱っこ隊のフェイスブックが閲覧でき、前年度の体験学習の様子が確認できたり申し込みができる。また、子育て中の母親たちが空いた時間に手軽に参加申し込みができるようにSNSを活用するなどの工夫を行っている。一度参加すると継続の参加を希望される方も多い。赤ちゃん抱っこ体験の実際の写真や動画を利用し、広くPRすることでより多くの方が赤ちゃん抱っこ体験を知り、参加親子の増加に結び付けたい。 コロナ禍の中、今後も継続して実施できるよう、今後出産を控えている妊婦等にもPRできるようSNSを活用しフェイスブックにも継続してこれまでの取り組みを掲示する。赤ちゃん抱っこ体験の実際の写真や動画を利用し、広くPRすることでより多くの方が赤ちゃん抱っこ体験を知り、参加親子の増加に結び付けたい。</p> <p>(次年度以降の方向性) 次年度以降も積極的な継続実施を図る。この事業は多くの関係機関が関与し、数か月前からの段取りや煩雑な連絡・事務作業も多く、学校や担当教員の負担感が高い。しかし、多様な生き方の中で命の大切さを理解する心の教育として、関係者からも継続した事業の実施を望む声が多い。この体験のことを広く周知し、赤ちゃん、その保護者、中学生、地域の方が体験に関わることで地域全体の育児力をより高めていきたい。雇用者の子育てと仕事の両立を支援する雇用環境の充実や地域児童の健全育成の取組などを自主的に行う事業所である市内の企業とタイアップして参加者募集活動を行い、地域で当事業がより浸透するよう働きかけた。そのため参加者数の確保はできたが、参加者の名簿管理や連絡調整など参加者・関係者が多いこともあり、実施主体である赤ちゃん抱っこ隊が負担が増大している。名簿管理や連絡調整に導入可能なツールを検証し、実施主体の負担軽減を図る。コロナ禍の中実施継続できる事業の展開を検討していく。</p>		

令和3年度			
委託料内訳項目	詳細項目	内訳	経費
費用弁償			330,000
需用費			124,000
	燃料費	31,000	
	消耗品費 玩具代、紙代	16,000	
	印刷製本費	72,000	
	通信運搬費	5,000	
使用料及び賃借料	携帯2台		80,000
役務費	クリーニング代		5,000
事務費			1,000
※費用弁償:2500円×132件			¥540,000

燃料費:ガソリン代として

令和3年度			
委託料内訳項目	詳細項目	内訳	経費
費用弁償			150,000
需用費			114,000
	燃料費	10,000	
	消耗品費 玩具代、紙代	4,000	
	印刷製本費	100,000	
使用料及び賃借料	携帯1台		75,000
役務費	手数料	撮影技術料・編集費	200,000
事務費			1,000
※費用弁償:2500円×132件			¥540,000

個別事業の内容	KPI項目		単位	目標値	現状値
	・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ・他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5 ・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)6 ・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)7 ・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)8 ・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)9	中学校の総合学習へのゲストティーチャーとしての参加率			
全8校中4校実施		%		50	
命の大切さについて学ぶ「命のぬくもり体験学習」への理解が深まった人の割合(事後の自由記述式調査)		%		97	
親になることのイメージを持つきっかけとなった、または乳幼児に関心を持つようになった参加者の割合(事後の自由記述式調査等)		%		97	
※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 越前市教育委員会、越前市教育振興課、越前市男女共同参画室 (配慮すること) 個人の決定に特定の価値観を押し付けたり、プレッシャーを与えたりすることのめづりはないこと共有を図る。 ・ひとり親家庭やLGBTを抱える生徒、被虐待経験のある生徒、様々な課題を抱える家庭に育つ生徒など、子どもを取り巻く多様な状況があるため、配慮する。結婚をしない、子どもを持つもたないなど多様な生き方がある事を前提とした取り組みであることを、事前の連絡会などを通じて関係機関で再度共有し、校内での学習内容等についても関係部局と情報交換に努める。					
※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 有(以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式 <input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約 (事業の内容) 赤ちゃん抱っこ体験支援事業 (随契の理由)					
※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 取組名:					
有の場合の担当部局:					

(注)
 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
 2「各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、区分(①結婚に対する取組、②結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組、③重点課題事業、④結婚新生活支援事業)ごとに、既存事業や他省庁補助金等事業なども含め、全体としてどのような取組を行うか、その中で、本個別事業がどのような位置付けにあるのか、どのように他事業との取組と連携しているのかを記載すること。
 3「個別事業の内容」には、個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
 ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
 4「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、本個別事業の各区分における取組全体像における位置付けを踏まえ、どのような考え方のもとどのくらいの効果が見込めるのか、それを測るためにどのようなKPI及び定量的成果目標を決定したか、達成予定時期を含め記載すること。また、各自自治体は、個別事業ごとに効果検証を実施すること。
 ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
 ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
 5「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
 6「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。
 7「男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項」には、特定の価値観の押し付けとならないようにする観点から、計画策定に当たり連携した関係部局等及び事業の実施に当たり連携する関係部局等並びに事業の実施に当たり配慮することを具体的に記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
 8「委託契約の有無及び契約方式」には、取組中の委託契約の有無及び有の場合には予定している契約方式を記載すること。また、競争性のない随意契約による契約を予定している場合は、事業の内容及び随意契約とする理由を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。
 9「システム等導入に係る管財部局の確認」には、マッチングシステム、アプリの構築等のシステムに関する取組の有無及び有の場合には、事業の内容及び確認を行った部局名を記載すること(優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合)。